

龍ヶ崎市子ども読書活動 推進計画（第三次）

～新たな取り組みを紹介します～

■問い合わせ・生涯学習課
市民学習推進グループ ☎内線221

平成13年に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境を積極的に整備していくことを目的として、市では平成17年に「龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第一次)」を策定しました。平成23年の「第二次推進計画」を経て、今年4月から5カ年の「第三次推進計画」がスタートしました。

この間、健康増進課・つばみ園（社会福祉課）・こども課・教育総務課・生涯学習課・指導課・中央図書館が中心となり、小中学校、幼稚園・保育所（園）・認定こども園、地域の皆さんと協力しながら、「小中学校図書室の充実」や「学校生活での朝読（朝の読書）の実施」「幼稚園・保育所（園）・認定こども園、子育て支援センターでのお話会開催や絵本の紹介」などに取り組んできました。

「第三次推進計画」では、「第二次推進計画」の成果と課題を踏まえ、5つの新規事業を含む35の施策を実施していきます。
その中から、今回は、図書館で始まった新たな取り組みを紹介します。

赤ちゃんの図書館デビュー はじめの一歩！

ブックスタート

中央図書館では、保健センターで実施する3～4カ月児健康診査で「ブックスタート」を実施しています。

昨年度からは、4冊から好きな絵本2冊を選べる選択制になりました。今年度からは、NPOブックスタートの布製バッグをプレゼントしています。ボランティアによる絵本の読み聞かせや図書館の利用案内のほか、赤ちゃんの利用者カード発行は、赤ちゃんを育てる家族にとって図書館デビューのきっかけとなっています。



こぐまちゃんのおはなし会



「ブックスタート」時にも紹介している「こぐまちゃんのおはなし会」は、毎回たくさんの赤ちゃんとその家族でにぎわっています。ボランティアによる工夫を凝らしたおはなしを楽しみに、毎月欠かさず参加する方もいます。／月1回・火曜日午前10時30分から

赤ちゃんタイム



6月からは、赤ちゃん連れのお母さん・お父さんが気兼ねなく利用でき、友達作りなどに活用してもらえるように「赤ちゃんタイム」をはじめました。

当初の参加者は1、2組だけでしたが徐々に参加人数が増え、お母さん同士で育児などの話をしている姿はとても楽しそうです。

お母さんからリクエストのあった絵本や、おすすめの絵本を読み聞かせることもあります。

最近では気軽に絵本の質問をする方も増えました。「トイレトレーニングの本はありますか？」の質問に、お母さんが読む育児書のほかに、赤ちゃんと一緒に楽しんで読める「しかけ絵本」を紹介したり、離乳食などのレシピ本などを紹介したこともありますよ。



図書館は、赤ちゃんからお年寄りまで一生利用できる楽しい場所です。館内ではよく、「ブックスタート」の青いバッグを持って、赤ちゃんを抱っこしているお母さん・お父さんを見かけるようになりました。

本好きの子どもたちがたくさん増えるよう、これからも図書館ではさまざまな活動を行っていきます。

図書館ではお子さんから大人まで楽しめるイベントがいっぱいです。

11月29日（水）午前10時30分から、「読書の秋 大人のための朗読会」を開催します。日常を忘れる癒しのひと時をぜひご堪能ください！